



鱗

河

阿賀には、懐かしい風景と
新しいロマンがある

第20号

http://www.aganogawa.jp/
E-mail info@aganogawa.jp

発行 2026 / 7月下旬
阿賀漁協組合報

発行 阿賀野川漁業協同組合／事務所 阿賀町石間 3881-4 ☎0254-99-1031 FAX1035

- * 第六十七事業年度通常総代会開催され、全議案意義なく承認される
- * サクラマス協議会、各単協の事業内容を承認
- * 各部会並びに委員会報告
- * 遊漁券販売協議会報告
- * 新增殖計画、新たに一括採捕チームの編成に着手
- * 新津地区の取組み
- * 国・県へ河川環境を踏まえたダムの運用を要望

飯豊連峰主稜／大日岳 2128m 阿賀町鹿瀬地区より望む



飯豊山系の無数の支流を集めて日本海へ注ぐ。(※麒麟山温泉裏手より撮影・絶景圧巻!!)

〇〇新田という
地名はなぜついた？

これは阿賀野川の迹を新田開発したために付けられたもので、阿賀野川の西側の南北にずっと続いています。天文五年（1536）の自鬆洪水と呼ばれた大洪水により、鶴沼川（旧大川）の流れが変わり、ほぼ現在の水路に固定されるようになった。

江戸時代になって、新田が精力的に開かれるようになり、流域に多大な恩恵をもたらした。

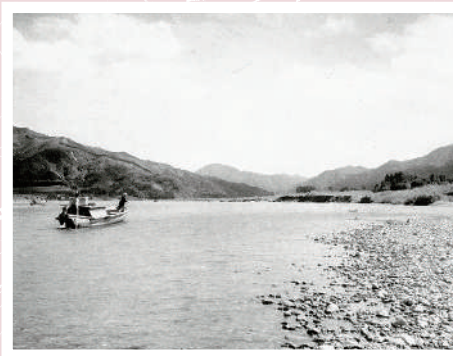
(一部国交省の資料による)

閑話休題

ナショナリズムとグローバルリズム

いわゆる自分勝手と、思いやりと説く。
世界のリーダーの己主義に。友好国は方向を失っている。他方で、大国主義に業を煮やしていた小国は、今こそチャンスとこれまた右顧左眄（うこさべん）の自国主義である。
日本とは言えば、米国一辺倒は変わらず、相変わらずトランプ氏の顔色外交である。同床異夢なのか、はたまた、異越同舟なのか？みんなが仲よくすることの難しさを世界の国々は思い知らされている。
心の片隅に潜んでいた、己主義が発芽したと言つて過言でない。しかし日本人の心流にある。「己を二の次にし、他の者を最優先に考える」この民族性こそ世界を救うのではないかと思う。あの、東日本大震災の時、被災者の立ち居振る舞に、世界の人々が感動した。
今こそ、日本人が世界を救うときではないだろうか。日本のナショナリズムが、世界の常識となることを願わずにはいられない。
(寄稿／代表理事)

阿賀今昔物語

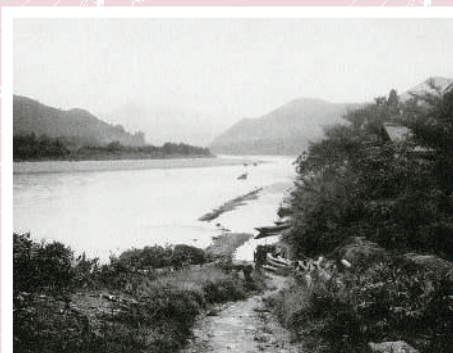


①渡し船風景

"往時を偲ぶ"

だしの風が強い地区であり、風雨を防ぐため屋根を付けたと考えられる。風情豊かな阿賀野川の魅力が詰まっている。

写真は、明治末期から大正初期に撮ったもの？現五泉市馬下地区と、現阿賀野市渡場付近と思われる。



②戊辰大砲櫓風景

"戊辰遠き"

右手の構造物は、戊辰戦争の大砲櫓と聞く。歴史的戦場になったと言われているこの地は、会津軍(幕府)撤退の地であり、砲台跡は戊辰の象徴として、今も語り継がれている。

写真は、馬下地区渡船場より上流東蒲原の山並みを仰ぐ。

第67事業年度 令和8年6月21日(日) 五泉市福祉会館

通常総代会開催される

総代総数90名の内、本人出席55名、委任状8名、（内代理1名）
書面議決4名で、10議案を審議し、全て承認された。



令和7年度収支決算の概要（1,096千円の赤字）

【収入】

（単位：千円）

科 目	金 額	摘 要
賦 課 金	6,010	組合員601人×10,000円
特 別 賦 課 金	3,099	さけ特別賦課金・ます増殖協力金
受 入 行 使 料	54	やな、釣堀、小阿賀野川増殖負担金
受 入 手 数 料	128	申請手数料等
受 入 補 助 金	1,413	カワウ・外来魚駆除対策費、阿賀町補助金等
指導事業雑収益	5,754	漁業補償金
種 苗 生 産 事 業	3,687	県さけ、推進協さくらます、県内水面漁連あゆ買上
販売事業（販売・手数料）	1,561	もくずがに・えび・こい・アユ・ヤマメ・イワナ塩焼き
預 金 利 子	19	定期・普通預金利子
雑収益・協力金	352	雑収入、鮭鱒増殖事業協力金
合 計	22,077	

【支出】

（単位：千円）

科 目	金 額	摘 要
人 件 費	7,138	役員報酬、職員、臨時職員給料等
旅 費 交 通 費	884	総代会、役員会、監査会、部会、研修会議等
事 務 費	923	事務消耗品費、電話通信費、リース料等
業 務 費	589	総代会議案書、広報鱗河印刷費、連絡員手当等
諸 税 負 担 金	4	収入印紙、河川占用料等
支 払 賦 課 金	328	公租公課、県内水面漁連賦課金
小阿賀野川増殖負担金	70	信濃川漁業協同組合入漁料
遊漁券協議会経費負担金	1,260	阿賀野川水系遊漁券協議会経費負担金
施 設 費	703	光熱費、施設管理費、自動車保険、整備費等
減 価 償 却 費	188	事務所、ウライ施設、岩谷ふ化場、養魚池
雑 費	456	岩谷施設資材費、事業に係る付帯経費等
加工事業直接費	708	アユ・イワナ・ヤマメ代、消耗品代、賃金、販売手数料
繁 殖 保 護 費	6,965	監視員手当、外来魚、カワウ駆除経費、稚魚代金
事 業 外 費 用	2,887	アユ中間育成、サケ・サクラマス飼育経費、卵代等
法 人 税 等	70	漁業補償金地区返還金他
予備費、その他	0	法人税
合 計	23,173	

◆予算との比較

（単位：千円）

【収入】

賦課金40千円減、特別賦課金285千円減、種苗生産事業372千円増
漁業補償金2,245千円減、販売事業361千円増、雑収益6千円増

【支出】

人件費278千円増、旅費交通費81千円増、事務費4千円増、業務費86千円減
施設費83千円減、繁殖保護費295千円減、事業外費用765千円減

令和8年度収支予算の概要

【収入】

（単位：千円）

科 目	金 額	摘 要
賦 課 金	5,400	組合員540人×10,000円
特 別 賦 課 金	3,057	さけ特別賦課金・ます増殖協力金
受 入 行 使 料 等	38	やな、釣堀、小阿賀野川増殖負担金
受 入 手 数 料	113	申請手数料等
受 入 補 助 金	1,443	カワウ・外来魚駆除対策費、阿賀町補助金等
指導事業雑収益	8,000	漁業補償金
種 苗 生 産 事 業	3,837	県さけ、推進協さくらます、県内水面漁連あゆ買上
販売事業（販売・手数料）	1,200	生鮭、鮭加工品、イクラ、モクズガニ等
預 金 利 子	19	雑収入、預金利子
雑収益・協力金	392	雑収入、鮭鱒増殖事業協力金
合 計	23,499	

【収入】

賦課金650千円減、特別賦課金327千円減、受入補助金30千円増

【支出】

人件費110千円増、遊漁券協議会負担金126千円増
（当組合の第五種義務放流分の稚魚代に充てるものとして一人当たり2,600円を
遊漁券協議会へ納入）
繁殖保護費157千円増、雑費用（漁業補償金地区返金）400千円減

【支出】

（単位：千円）

科 目	金 額	摘 要
人 件 費	6,969	役員報酬、職員、臨時職員給料等
旅 費 交 通 費	803	総代会、役員会、監査会、部会、研修会議等
事 務 費	924	事務消耗品費、電話通信費、リース料等
業 務 費	599	総代会議案書、広報鱗河印刷費、連絡員手当等
諸 税 負 担 金	15	収入印紙・河川占用料・自動車税等
支 払 賦 課 金	296	新潟県内水面漁連賦課金
小阿賀野川増殖負担金	50	信濃川漁業協同組合入漁料
遊漁券協議会経費負担金	1,386	阿賀野川水系遊漁券協議会経費負担金
施 設 費	839	光熱費、修繕費、車両経費、施設管理費等
減 価 償 却 費	180	事務所、ウライ施設、岩谷ふ化場、養魚池、パソコン
雑 費	300	岩谷施設資材費、事業に係る付帯経費等
加工事業直接費	120	加工用材料費、加工労務費他
繁 殖 保 護 費	7,436	監視員手当、外来魚、カワウ駆除経費、稚魚代金
事 業 外 費 用	3,252	アユ中間育成、サケ・サクラマス飼育経費、増殖経費
法 人 税	70	漁業補償金地区返還金
予備費、その他	260	法人税
合 計	23,499	事業繰出金他

ふ化場だより

近年まれにみる不漁で、サケの放流は14万尾余りでここ6年間で最低となりました。昨年から、新たに早出川での集中した捕獲採卵など、阿賀全体での増殖計画が実施されます。少ない資源をどう効率よく生かして行くかが、これからの最大の課題と考えております。

サクラマスは、3年間禁漁の後再開し、2年目となりますが、2万尾ほど放流いたしました。まだまだ十分ではありません。

昨冬は、ふ化場で大切な卵や稚魚がイタチの被害にあいました。箱ワナを仕掛け、3匹を捕獲しました。

今は、アユ稚魚の放流を終え、アユ解禁となりますので、おとりアユの準備中です。天然物の遡上も大きな期待をしています。〈事業部〉

令和8年度河川懇談会要望

新 潟 県 へ の 要 望

■農地部関係への要望

河川工事において、自然回復や漁族保護の措置が図られるよう、河川に大石を残すなど、引き続き魚類等にやさしい環境整備をお願いします。また、河川工事の際に大石が出てきた場合には、魚類等のすみか・隠れ家として活用することをお願いします。新谷川で施行した河床掘削工事や災害復旧工事では発生した大石など存置し、今後も発生材の有効活用など魚類にやさしい環境整備に努力していただきますようお願いいたします。また、新谷川1号堰堤床固工の計画に伴う魚道整備が予定されていますが、最新型の魚道と魚類の遡上期や産卵期の適正な流量確保をお願いいたします。

（H17～継続要望）

杉川はサクラマス等の天然遡上があるため、暮坪頭首工改修工事の際に魚道の設置については、エプロン部の損傷と護床ブロック流失に対して堤防及び護岸への影響を回避するため、緊急的に行うものであり、制度上、魚道の設置は見込んでいない。頭首工の全面更新を行う際は関係土地改良区や農業関係者と調整を行うとの回答ですが、絶滅危惧のあるサクラマスの資源保護のため魚道の設置を強く要望するものであります。

（R4～継続要望）

国土交通省への要望

■東北電力へ水利権更新時に付帯条件付記として

1. 河川流量の激減から（大河は顕著）遡上魚を中心に、大きな悪影響を及ぼしています。それは、昭和初期に多くの利水ダムが建設され、当時の建設同意書の内容でおよそ百年間もダムは運用されており、このことにより一番被害を受けるのは、河川動植物です。このままでは、河川はただの排水路と化してしまいます。

このことを踏まえ、「水利権」の更新時にはダムの運用を見直し、河川環境に配慮した許可内容を盛り込むよう要望いたします。

（R7～継続要望）

2. 阿賀野川の中州にある樹木がカワウの棲みかになっているので、引き続き伐採等の整備をお願いします。

（H28～継続要望）

7年度の回想と次年度への思い

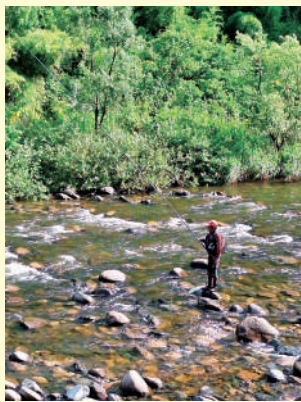
夏の風物詩「鮎漁解禁！」

2年続きの猛暑に溺水。今年は如何に？

明治生まれの古老より聞いた話だが「水飢饉に悩まされた末、村人を伴って「白山様」へ雨乞いに行ったそうです。今も昔も自然の猛威には勝てず、ダム建設に頼っているのが現状です。

アユの漁期は、産卵期を禁漁期間として実行されています。鮎も養殖技術進んでいるとは言え、自然産卵も必要と思います。アユ同様に「禁漁期間」を設けて、自然産卵を促すのも必要ではないかと思えます。自然産卵で育った個体は、天敵や河川環境への順応も高く、遡上率も高くなると思います。関係者に今後の検討をお願いします。

(広報委員長 林野 昇)



阿賀野川水系遊漁券協議会報告

令和8年4月7日(火)阿賀野川水系遊漁券協議会が阿賀漁連会議室において開催されました。

議題は

- ① 令和7年度遊漁券販売の収支・監査報告について
- ② 令和8年度予算計画について
- ③ 阿賀野川水系遊漁券協議規約について

阿賀野川水系の各単協(東蒲原郡漁協、新潟市大形地区漁協、松浜内水面漁協、阿賀野川漁協)により審議いたしました。

令和8年から遊漁券の料金改定を行いましたので、年券の甲券(投網可)が9,000円に乙券が8,000円と2,000円の値上げとなりました。一日券2,000円、かに券6,600円はこれまでどおりです。今年度は何とか遊漁券収入の増額が見込めるのではと期待しています。

また、オンラインによる電子遊漁券販売についても協議をはじめたところです。川離れが進む中、県内外の多くの釣り客から来てもらえるようにするためには、釣り客の利便性を図ることや阿賀野川水系の溪流漁場の適切な管理が大切であり、遊漁券収入の増加や活性化に繋がるものと思っています。(副組合長 藤田 正明)

総務部事業報告

内水面漁業組合の経営状況は厳しく、漁業後継者や組合員数の減少、一般遊漁者の川離れ等による遊漁券販売の低迷。これに加え、地区組合も疲弊しており限界値に及んでいます。

当組合も、本組合の存亡と地区組合の存亡は関連しておりますので、これらを踏まえ、地区と本組合は一つの財政基盤であることを明確にし、組合運営の指針にしなければならぬことから、今年度は総代会に議案上程し、河川工事等に係る漁業補償金について、補償金配分率の変更をすることとなりました。

砂利・砂採取補償金の配分比率を見直し、令和8年度入金分より、本組合は60%、地区組合40%に変更させていただきました。その他公共工事等については、これまでどおり変更はありません。ただし、極害が複数年続く場合等は別途協議いたします。地区組合の皆様からにはご理解とご協力を何卒お願いいたします。

(総務部長 遠山 清)

阿賀川水系サケマス協議会報告(3/25開催)

『協定書内容のあらまし』

- ・サクラマス捕獲及び採卵計画は、各単協の考え方を尊重しその計画を承認する。
 - ・協定書の効力は、令和8年度より6年間とする。
(必要事案発生した場合、逐次協議会を開催する。)
 - ・8年度において、連合会(松浜・大形)は阿賀野川漁協からサクラマスの稚魚2千尾を購入して飼育する。
- 【別件】袋網(ヤツメウナギ漁)での操業は、各単協の地先を越境しないことを条件に何ら制限をしない。

事業部の活動について

サケの漁獲量は年々減少しており過去50年で最低水準の不漁が続いています。近年ピーク時2015年の約46万匹の10分の1以下に激減し、気候変動による海水温の上昇など海洋環境の変化が主な原因と指摘されています。

県内の漁獲状況は直近のデータでは河川での捕獲数と沿岸での漁獲量を合わせても、年間わずか2万尾前後の規模に留まっています。

因果関係は不明ですが、捕鯨禁止から今は40年前より生息数が回復しています。鯨は1日体重の4~5%の食事を必要とされます。年間で膨大な量の魚やオキアミを消費します。人間が食用とするサンマ、イワシ、サケ、マスなども捕食するため漁獲量の減少に繋がっているのではないのでしょうか。

鮎が川に戻ってくる遺伝子の強い鮎。増殖事業は数量だけに拘らず、一部一定期間、自然産卵を考えてみてはと思います。サクラマスは今までヤマメをカケ続けて来ましたが、遡上したオスによる増殖と一部自然産卵による方法も良いのではと思っています。

(事業部長
阿部 信裕)



新津地区の活動取組について

新津地区では毎年総合学習の一環で、阿賀小学校の児童と一緒に鮎の稚魚を小阿賀野川に放流する活動をしています。

今年も3月4日岩谷ふ化場で飼育したサケの稚魚2万匹と学校の水槽で観察しながら大切に育ててきた稚魚を「元気で帰ってきてね」と声をかけながら、川へ送り出していました。冷たい川の流れに泳ぎ出す小さな稚魚を見つめる表情からは、命を育てる喜びや自然への関心が感じられました。

近年はサケの回帰数の減少に伴い、放流する稚魚の数も年々著しく減少しています。しかし、子どもたちは「4年後にまたこの川へ戻ってきて欲しい」という願いを込めながら、一匹一匹を大切に放流していました。

(新津地区事務局長 古石 久志)



放流の歴史？

当組合では、昭和36年ころ散在していた地区を合併して、現在の協同組合となりました。この頃から人工増殖による放流が始まったと伝わっています。

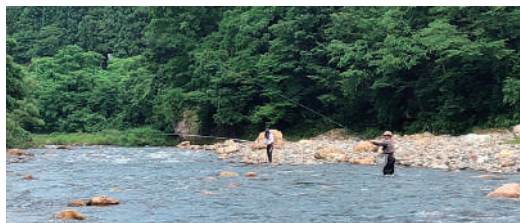


遊漁証販売はこちらで

販売店	住所	電話番号
本間釣具店 黒崎店	新潟市西区山田	025-377-1008
上州屋 新潟店	新潟市中央区	025-241-5765
風間釣具店	新潟市中央区	025-243-0232
高橋釣具店	新潟市秋葉区	0250-22-0960
トビヌケ新潟店	新潟市東区	025-271-6776
鈴木釣具店	聖籠町蓮野	0254-27-2639
藤井釣漁具店	五泉市村松	0250-58-6815
せいこの屋	五泉市論瀬	0250-42-5471
セブンイレブン五泉論瀬店	五泉市論瀬	0250-43-6718
セブンイレブン五泉船越店	五泉市船越	0250-43-1530
関口釣具店	阿賀野市北本町	0250-62-2717
セブンイレブン阿賀野保田店	阿賀野市保田	0250-68-5588
セブンイレブン阿賀三川店	阿賀町石間	0254-92-7312
ヤマザキショップみかわ中嶋店	阿賀町白崎	0254-99-2620
セブンイレブン下越津川店	阿賀町津川	0254-94-1177
ファミリーマート津川平堀店	阿賀町津川	0254-94-5955
Fising hut (フィッシングハット)	阿賀町津川	050-8884-3760
山内釣具店	福島県会津坂下町	0242-83-2713
物井釣具店	福島県会津若松市	0242-22-0028
上州屋キャンベル会津若松店	福島県会津若松市	0242-29-2153

鮎おとり販売店

販売店	住所	電話番号
鮎久 (五十嵐おとり)	阿賀町細越525-1	090-1533-9666
石井おとり店	阿賀野市小松178	090-4526-4466
中島おとり店	阿賀町豊川甲352-2	0254-95-2522



さけます放流状況

【さけ】

河川名	放流尾数	放流場所	放流月日
阿賀野川	35,482 尾	阿賀野市新保地先 (砂利プラント)	R8.3.4
新谷川	500 尾	阿賀町五十沢地区 (名知阿美橋上流)	R8.3.10
五十母川	—	—	—
仙見川	35,914 尾	五泉市川内地区 (仙見川橋上流)	R8.2.27
安野川	5,063 尾	阿賀野市百津地区 (百津橋上流)	R8.3.8
都辺田川	—	—	—
小阿賀野川	70,740 尾	新潟市秋葉区七日町 (砂利プラント)	R8.2.27 R8.3.4
合計	147,699 尾		

【さくらます】

河川名	放流尾数	放流場所	放流月日
杉川	7,671 尾	五泉市暮坪 暮坪橋上流	R8.4.8
綱木川	7,966 尾	阿賀町綱木 下綱木大橋下流	R8.4.8
五十母川	5,311 尾	阿賀町五十島 耕地橋上流	R8.4.8
合計	20,948 尾		

【あゆ】

令和8年度第五種放流計画及び実績

河川名	放流量	放流場所	放流月日
新谷川	300 kg	阿賀町新谷、金山橋、新谷橋、古館橋、細越橋、名知阿美橋、五十沢橋 ※山形産アユ50kg	R8.5.19 R8.6.09 R8.7.15
綱木川	103 kg	阿賀町綱木 下綱木大橋、古岐橋 ※山形産アユ103kg	R8.5.19 R8.6.09
中ノ沢川	30 kg	阿賀町上島 上島橋	R7.5.19
谷沢川	30 kg	阿賀町谷沢 尻羽沢橋	R8.5.22
五十母川	30 kg	阿賀町五十島 耕地橋上流	R8.5.22
阿賀野川	130 kg	阿賀町津川、白崎、五十島地先 阿賀野市小浮地先 五泉市笹堀地先	R8.5.22
早出川	120 kg	五泉市小面谷 中川原橋、松野橋	R8.5.19
杉川	80 kg	五泉市暮坪 堰堤の上、春水橋上流	R8.5.19
仙見川	40 kg	五泉市夏針 藤助小屋	R8.5.19
合計	863 kg		

【内訳】

組合義務放流425kg (内山形産あゆ153kg)
組合自主放流428kg (中間育成700kg)
※内三川地区自主放流分60kg
川内地区自主放流分27kg
阿賀町助成分121kg
※他に繁殖放流分80kg (阿賀漁連)
東蒲原郡漁協放流分 (常浪川720kg)



魚種	義務・自主放流量	放流場所	放流月日
いわな	7,965 尾	杉川、五十母川、名知阿美川	R8.6.30
やまめ	8,680 尾	綱木川、中ノ沢川、五十母川、早出川、杉川	R8.4.15
かじか	1,540 尾	早出川、五十母川	R8.7中旬
もくずがに	35 kg	早出川、綱木川	R8.10月上旬
まぶな	63 kg	新江川、阿賀野川	R8.11月上旬
にじます	100 kg	早出川	R8.8.2

※他に委託繁殖放流分 いwana3,000尾 (新谷川金山橋)、やまめ3,000尾 (新谷川古館橋)

アユイング
ルアーによるアユ釣りのことで、近年専用釣り場を定めて実施する河川が増えている。「おとり」がいらないことから若者に注目されている。



R8.4.15 やまめの放流 早出川松野橋上流



R8.3.8 安野川 百津地区自治会と放流



R8.4.8 杉川 五泉市暮坪 暮坪橋上流

増殖(捕獲等)体制新たに

※増殖体制の強化を図るため、新たにウライ漁作業チームを結成する。(組合員・有志を募り) 新津地区に委託していた、増殖サケ捕獲(ウライ漁)体制の維持が、組合員の減少や高齢化などから難しい状況下にあることから、増殖体制に理解と意欲のある組合員を募り、新たな増殖体制を作ることになりました。
ご理解とご協力を戴ける方は、組合事務所・各地区理事に連絡をお願いします。
又、理事の方々にも周知を図るようお願いいたします。
(事業部会より)

組合員・ボランティア活動員募集!

連絡先 阿賀野川漁業組合 ☎0254-99-1031 FAX0254-99-1035



当組合では、新しい内水面漁業へ転換するため、人材の確保に取り組んでいます。
密漁監視、稚魚放流ボランティア等を募集しています。

ご協賛ありがとうございました。御社のご繁栄をお祈り致します。(阿賀漁協役員一同)

建設業許可(特-25)第12146号 産業収集運搬業 1501033134
建設業許可(特-25)第12146号 産業廃棄物 1521033134
新潟県運輸局新自貨第3号
地域と共に 誠心誠意 **信頼 研鑽 感動**
株式会社 遠清商事
本社 〒959-2221 新潟県阿賀野市保田908
TEL(0250)68-2744 FAX(0250)68-3923
新潟営業所 〒950-0141 新潟市江南区亀田工業団地2丁目2528-39-2
TEL(025)385-9188

RAN Meta heat 新築・リフォーム
製造・販売元 HOKUETSU
北越産業株式会社
〒959-2221 新潟県阿賀野市保田4612-1 TEL0250-68-2423/FAX0250-68-2512
ホームページ公開中 ▶▶ http://hokuetuline.jp/

新築・リフォーム
土木工事・外構工事・解体工事等
ご相談承ります。お気軽にお申し付け下さい。
株式会社 新栄建設
阿賀町谷沢1040番地 TEL0254-99-2618

安心を包み 生活を彩る
株式会社 権文
阿賀野市小松576
TEL 0250-68-4535

各種自動車販売・整備・板金・塗装
建設機械修理・定期点検
お車のことなら 太陽自動車
〒959-2221
新潟県阿賀野市保田907
TEL0250-68-3930 FAX0250-68-3931

(有)MM製作所
自動車内外装用品製造
住所／阿賀町細越236番地
TEL0254(99)2841 FAX(99)2862

WATANABE
ひととをつなぐ総合建設業
株式会社 渡辺建設
〒959-2217 新潟県阿賀野市新保201番地
TEL(0250)68-1050 FAX(0250)68-5366

FUJITA・YOKOGOSHI
代表 藤田 正明
☎950-0208 新潟市江南区横越中央2-10-8
TEL 025-385-1177

左官工事・タイル工事
株式会社 齋藤左官工業
代表取締役 齋藤 正人
〒959-2221 新潟県阿賀野市保田4878-11
TEL(0250)68-3166 FAX(0250)68-5020

総合造園・緑化工事・施行
一般土木・芝維持管理
阿賀グリーン
有限会社
〒959-4605 阿賀町細越665-1
TEL(0254)99-2725
FAX(0254)99-3557

小野里建築
小野里 武
新築・増改築等のご相談承ります。
お気軽にお申し付け下さい。
阿賀野市六野瀬1331
TEL 0250-68-4699

～東蒲原とともに 創業七十七年～
総合建設業
株式会社 三川土建
〒959-4606
新潟県東蒲原郡阿賀町五十沢4023
TEL0254-99-3584 FAX0254-99-3822

阿賀野川砂利採取販売協同組合
代表理事 清野 耕治
〒956-0815
新潟市秋葉区新金沢町2124番地6
TEL 0250-22-1985
FAX 0250-22-1975

編集後記
鱗20号発刊に当たり、組合員他皆様よりいろいろなご意見を戴き有難う御座いました。組合の現状と言えば、気候変動による河川環境の変化などから、この4～5年は不良が続いております。また、組合員の減少も歯止めのかからない現状です。「五風十雨」で穏やかな環境の続くことを祈っております。
(広報委員長 林野 昇)